

M・S (マクロ経済学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

前期からの継続です。コア科目の単位取得をお手伝いして、勉強を楽に感じていただけたら良いなと思って続けていました。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

9人体制というのは初めてでした！毎回異なるペアの人と講義をするのは新鮮でした。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

人前で話す時とき、緊張だけで終わるのではなく、話しながらもその内容や話し方などを意識できるようになったこと。言いたいことやポイントをまとめて伝える為に、分かりやすい言葉や順序での説明を意識するようになったこと。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

SAって大変、ちゃんと出来る人じゃないとなれない…というイメージをお持ちかもしれませんが、最初から完璧な人はいません！SAの業務を続ける中で、成長していくことができるのが重要です！（鈴木先生からのメッセージです）、必ず何かを得られます！

やってみたいという気持ちから一歩踏み出して挑戦することが大切です。履修経験を通して「こんな風に勉強したら簡単！」「このやり方が覚えやすい！」など、コツを知っている方は、是非それを布教すべく、SAになっただけで満足してはいけません。

支援室の方々や先生のサポートも手厚く、安心して活動できます！

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

田島先生には約1年間、鈴木先生、学習教育支援室の皆様には約2年半の間、本当にお世話になりました。ここまで務めることができたのは、周りの方々の支えがあつてこそだと感じています。段取り不足やミス等で、支援室の方にご迷惑をおかけすること多かつたと思いますが、常に私たちのために尽力してくださり、ありがとうございました。

先生方には、常に私たちを気にかけていただいてとても助かりました。任期中は鈴木先生にもよくごちそうしていただき、感謝しております！

簡単な挨拶になつてしまいましたが、お世話になり、ありがとうございました。今後もSA活動が発展していくことを期待しています！

K・S (マクロ経済学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

前期からの継続です。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

今回は人数の関係で毎回違う教室で色んな人と講義をしていたのですが、新鮮で面白かったです！

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

どのようにしたら話をきいてもらえるのか、重要だとわかってもらえるのかなど、「良い伝え方」というものを試行錯誤するという癖がつきました。「良い伝え方」に何かはっきりとした答えがあるわけではなく、内容や相手によって大きく異なってくると思います。これからも伝えるということに丁寧でありたいです。

また、それをアシストするパワーポイントの作成ができるようになったのも変化の一つです。社会に出ても必要なスキルだと思うので、学ぶことができてよかったです。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

学生のうちに長時間大学の教壇に立って話すなんて、本当にない経験です。迷っている人がいるなら是非挑戦してほしいです。自分が教えるなんて無理という人も多いと思いますが、SAはみなさんと同様普通の学生ですし、最初はみんな緊張します。失敗もたまにあります。試行錯誤の中少しずつ掴んでいくものです！心強い先生も仲間もいます。なので、是非挑戦してくださいね！

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

先生方、マクロのみんな、支線室の皆様、長期間本当に御世話になりました！大学の半分以上の期間、コアセッションという授業の担当をさせてもらえて本当に良かったです。この経験で学んだことを活かして社会に出ても頑張りたいと思います。ありがとうございました！！

M・S (マクロ経済学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

先輩のお誘い

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

受講生の方が真剣に聴いてくれる姿

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

授業の進行を考えるときに、“分かりやすく、興味を持ってもらえるように、より明確に冊子の内容を理解するけど説明は簡潔に”、といったポリシーをもって、授業のプロセスを考えたことは、自分が授業を受ける側になったときにすごく役に立ちました。人前で話すことも、ハッキリと話すことも苦手な内気な性格でしたが、自信をもって話すことを心掛けるうちに、日常生活において自分自身が変わったことをとても感じます。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

このような機会は人生で滅多にありません。塾講師や家庭教師とはまた違う独特な経験ができます。アカデミックの内容ですが、テストの合格率を上げるというSAの任務自体は難しいことではないです。私はSAをしていなければ、自分の思考力の成長を感じることはなかったと思います。して損な経験ではないと思います。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

1年間ありがとうございました。大変お世話になりました。先輩一人一人から多くのことを学ばせさせてもらい、感謝と尊敬の念で胸がいっぱいです。マネジメントが苦手なので、先輩方や野村君に助けてもらってばかりでしたが、今後は気を引き締めて頑張りたいと思います。みなさん大好きです。



J・S (マクロ経済学A)

T A／S Aをやってみようと思ったきっかけ

受講生のおかげで、当時のS Aの方にお世話になったため。

T A／S Aに関連する活動で印象に残っている出来事

昨期までS Aを勤めた科目と比べ、マクロはS Aの人数が多くみんなで講義を作る意識が強かったこと。

T A／S Aを経験して変化したこと、成長できたこと

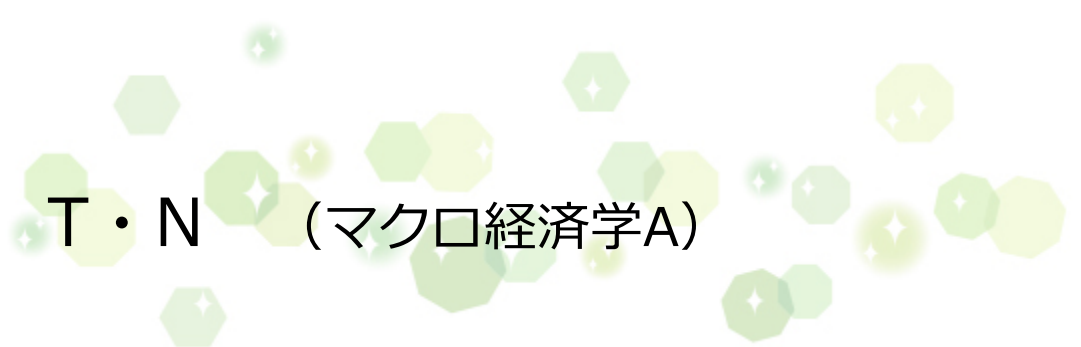
伝えるということに関して、一般的には不明ですが、以前の自分より確実に上達したと思います。また、わかりやすく伝えるための前準備としての物事の論理構造を捉える力が身についた気がします。

T A／S Aになってみようと思っている学生へのメッセージ

もし迷っていたら、ぜひ一歩踏み出してほしいと思います。その一歩が難しいなら、担当の先生や先輩のS Aに相談すると良いと思います。みなさんとても素敵な方々です。
だんだん縮小傾向にあるコアセッションですが、私の受講生としての経験、S Aとしての経験を踏まえても、とても良い制度だったと考えています。みなさんがコアセッションを存続させてくれることを願っています。

担当教員やT A／S A仲間へのメッセージ

おかげさまで無事にS Aとして5期間の活動を全うすることができました。先生方や職員の方々、S A仲間を含め、ご助力いただいた全ての方々に感謝を申し上げます。特に、科目は違えど2年の秋から一緒にS Aになったお三方については、いなかったらどうなっていたんだろうと戦々恐々とするほどです。本当にありがとうございました。



T・N (マクロ経済学A)

T A / S Aをやってみようと思ったきっかけ

前期からの継続です。受講生の時に本講義の理解の助けとなったので自分もと思って。

T A / S Aに関連する活動で印象に残っている出来事

前期のマクロBよりも中間アンケートに肯定的な意見が多く少しは改善できたのかと思いました。

T A / S Aを経験して変化したこと、成長できたこと

マクロ経済学Aを教えるにあたって、自分が受講生として受けた知識だけではもちろん足りないので自分もマクロ経済学を深く勉強しなおせたかなと思います。また、ただテキストにあることを述べるだけでは理解してもらえないので要点を整理し、スライドも見やすくなるよう努力しました。

T A / S Aになってみようと思っている学生へのメッセージ

大変な業務かと思っている方もおられると思いますが、難しい内容は詳しく教えてもらえる上に教えるにあたっての学習で自分を高められます。また講義資料も過去のもので参考できますので、とても苦労するということはないと思います。

担当教員やT A / S A仲間へのメッセージ

一年間お世話になりました。鈴木先生、田島先生のお二人は来年もお世話になるとと思いますが、よろしくお願いいたします。先輩方には講義準備のコツから講義中のアドバイスまでたくさんのことを教えて頂きました。来年からもそれらを踏まえて頑張りたいと思います。

T・F (マクロ経済学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

継続です。はじめは学んだ事を活かして貴重な経験を積みたいと思ったからです。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

今期は担当教室が決まって無かった事です。毎回違うSAとの組み合わせが新鮮でした。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

想像力です。AB科目を全て学んだ自分に驕りがありましたが、業務で失敗を重ねて勉強とサービス業で教える事は似て非なると感じました。が、放研のSA方のお陰で前向きに取り組めました。集中を切らさないよう深く速く進める事、卒業後も知識を活かせるよう丸暗記でなく直感的に覚えて貰う事を意識し、例えば解説前に「稼ぎやすくする為の政策」等と簡潔に前置きして理解しやすくしました。広い見解で考えたので想像の引き出しが増えました。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

三桁近い人数の国立大生に講義が出来る貴重な体験です。内容は高度で受講生には個人差がある為、科目への深い理解やポイントを抑える要領の良さが問われます。楽にするには普段から工夫すると良いです。例えば勉強中に式の意味を細かく自問すると理解が深まり教えやすくなります。自信が無くとも教授陣や支援室の方々がサポートしてくれるので興味がわいた方は臆せず挑戦して下さい。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

四期を振り返ると放研のSA方にはお世話になったと思います。アドバイスのお陰で実りある業務を送れました。また、今期は“N”SAの洞察力や真面目さが印象的で、バスの時間まで考え講義を調整していたのは鋭いと思いました。来期も期待してます。先生方や支援室の皆様、これまでご指導や各種手続きありがとうございました。我々4年生のCS業務は今期で終わってしまいますが、業務での経験を活かし卒業後もお互い活躍しましょう。

P・N (マクロ経済学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

私が1・2回生のとき、マクロ経済学・ミクロ経済学・簿記会計を履修して、講義についていくことが難しいと感じました。さらに、理解できないこともたくさんありました。そこで、コアセッションを受けることによって、講義の内容がもっとわかるようになりました。特に、試験の範囲のことも教えてくれました。わからないことがあれば、TA・SAに気軽に聞くことができました。そのために、自分も上回生になったら、後輩たちにわかりやすく授業の内容を教えたいと思い、大学生活の最後のセメスターでマクロAのSAに申し込みました。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

最も印象に残したことは試験対策の作成です。今年の試験対策は去年の問題を使うのではなく、SAたちで検討し、試験対策を作成しました。SAのみんなと協力して問題を検討したことが非常に印象に残りました。また、私が留学生の受講生からマクロAの質問を受けて、彼らにマクロ経済学をわかりやすく説明できたことがもう1つの印象に残ったことです。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

4回生にとっては卒業論文を完成させないといけないことが重要です。それと同時にSAを担当し、授業の準備をしないといけないことがとても大変だと感じました。しかし、それらを両立させることができた、無事に卒業論文を提出でき、SAの仕事も無事に終わりました。また、私は留学生であるため、言語の壁があると感じたこともありました。日本人学生にちゃんとマクロ経済学の教えられののかという不安を持っていたいましたが、後輩からよく理解できたと言われ、非常に嬉しくて自分の成長につながったと思います。この経験によって自分が今までできないと思っていたことができることがゆかり成長できました。

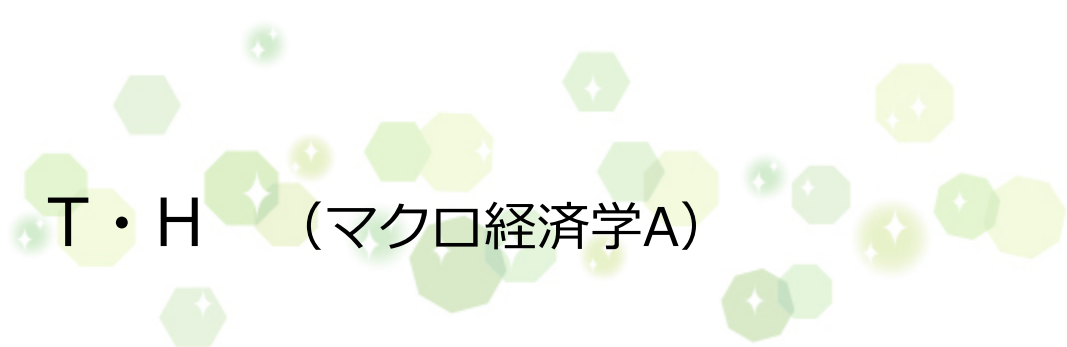
TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

TA/SAになりたい方へ、外国人の私でも日本人学生に教えられるので、他の留学生の後輩や日本人だれでもTA/SAになれます。また、先生とコミュニケーションを取りながら、授業を行う機会が少ないので、TA/SAの経験が非常に貴重だと思います。さらに、不安の点などあれば、TA/SAの仲間・担当教員にすぐ聞いて対応できます。TA/SAに興味があった方はぜひ申し込んでください。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

私がTA/SAになって、半年間を立ちました。短い時間ではあるが、鈴木先生・田島先生に大変感謝しております。いつもコアセッションの授業を支えていただき、ありがとうございました。

マクロAのSAが他の科目のSAと比べて人数が多かったので、仲間感・仲間での助け合いが非常に感じられました。2019秋学期のマクロAを無事に終わらすことができるのはTA/SAの皆さんのおかげだと思います。半年間本当にありがとうございました。



T・H (マクロ経済学A)

T A / S Aをやってみようと思ったきっかけ

自分が受講生の時にお世話になったため。

T A / S Aに関連する活動で印象に残っている出来事

試験対策講座は受講生も多く印象に残っています。

T A / S Aを経験して変化したこと、成長できたこと

わかりやすく伝えることが最も重要なことなので、相手にとってのわかりやすさを心がける習慣がついた点だと思います。話し方や資料の作り方などにおいて、簡潔でわかりやすく説明する点において成長できたのではないかと思います。

T A / S Aになってみようと思っている学生へのメッセージ

SAは実際の講義や資料制作等を通じて、学べる点が非常に多いと思います。学生が授業をするというのは、非常に貴重で有意義な経験になるかと思うので、是非応募してみてください。

担当教員やT A / S A仲間へのメッセージ

これまで有難うございました！

M・Y (マクロ経済学A)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

前期からの継続です。受講生時に、大勢の学生を前に毅然とした態度で講義を行うSAさんを見て憧れを感じたからです。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

色々なSAさんと講義を行えたことです。特に新しく加わったSAさんとの講義が印象的でした。まず後輩の一人が非常に優秀で衝撃を受けました。講義内容への理解が深く、自分なりのスタイルも確立していて感心しました。先輩として色々教えるべき立場だったのですが逆に学ばせてもらうことが多かったです。また留学生のNさんはスライド作りに熱心に工夫を施して、貪欲に分かりやすい講義を追求していました。そうした情熱を見習いたいと思いました。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

主に感じたのが、人前に出て話すことに戸惑わなくなったこと(噛みまくってますが)。論理立てて話すことを意識するようになったことです。前者については、元々人前で話すことは得意でなかったのですが、講義では何時も大勢の受講生を相手にする必要があるため、質問に答える際に、自然とそう言う状況に慣れることが出来ました。後者については、質問に答える際に、順序立てて話すことを心がけていました。そのため、何か説明する際には論理的に話そうと意識する姿勢が身につきました。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

大勢の学生を前に講義をするという経験は他では中々得られません。最初は不安もあるとは思いますが、先輩のSAさんや先生がフォローしてくれるので心配ないです。少しでも興味があればチャレンジしてみることをオススメします。ちなみにSAの経験は就活でも有利に働きますよ。口まず面接官ウケが非常に良いですし、グループワークや面接でもSAで培ったスキルがそのまま生かれます。就活が不安でエピソード作りたいた方は是非！

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

>同回SAさん

一年半ありがとうございました！

皆さんのフォローのおかげで、ポンコツな僕でも最後までやり遂げることが出来ました。一緒に講義を行ったり、講義内容について議論したり、時には何気ない雑談が出来て本当に楽しかったです！(正直もっと早くからSAやっておけばよかったなと思います)卒業後は自身の目指す進路を頑張っていきましょう！本当にありがとうございました！

>後輩SAさん

来期からごっそり人数抜けて大変だとは思いますが、優秀な二人なら大丈夫です！先生方、学習支援室の方々と協力して頑張ってください！本当にありがとうございました！

>鈴木先生、田島先生

半年間(鈴木先生には1年間)ありがとうございました。分からない箇所があった際に、お忙しい中対応してくださり本当に助かりました。また先生方と講義内容について話すことで経済学に対する理解がより深まりました。

お世話になりました！

>学習支援室の方々

一年半お世話になりました。講義準備のフォローや教室の環境整備など影ながらのサポート本当に感謝しています。(質問待機すっぽかしたり提出物遅れてすみませんでした)これからもSAさんのサポート宜しくお願いします！

Y・S (統計B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

僕が二回生の時に統計学BのSAだった方から誘われて、一度は断りましたが、四回生の直前にSAになりました。統計学が好きだったのといろんな人との繋がりが増えて、楽しそうだったからというのが主な理由ですね。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

四期目のSAでも新鮮な出来事はたくさんありました。今期のコアセッションは二週に一回しか授業をやらなかったものでいつもよりは楽でしたが、あまり覚えてもらえんやろうなと少し残念でした。しかし、学祭のときやベイシアなどで受講生とすれ違っていると覚えててくれて嬉しかったです。

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

物を教えて理解してもらえると他の何でも味わうことのできないこの上ない幸福感と達成感に包まれます。特に自分が専攻している分野だと尚それは大きい。SAになって変化したことや成長できたことを数えだすと枚挙に暇がないですが、一番大きいのは人に物を教える楽しさや尊さ、慈しみを実感することで再確認できたことです。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

SAをやるにあたって重要なのは、能力の高さよりも、やる気だとか情熱です。確かにSAというものは他人にものを教える仕事なので、能力が高いに越したことはありませんが、あまり重要ではありません。それよりも受講生にどれだけ寄り添えるか、熱くなれるかのほうが重要です。なので、ある分野が好きでSAに興味はあるが成績が悪く戸惑っている人がいれば、是非来季の担当教員の方にMailすることです。きっと良いSAになれます（僕自身が良いSAだったかはわかりませんが）。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

いつもメールの返信を忘れる僕にお姉さんのように接してくれたスタッフさんたち、兄のように僕を慕ってくれた後輩達、親のようにいつも僕の心配をしてくれていた先生方。今期も多くの人に迷惑をかけながらもお世話になりました。ここでのたくさんの経験はたくさんの発火となり僕のシナプスに深く刻み込まれました。したがって皆さんと過ごせた毎日は大切な思い出として一生忘れることはありません。SAという貴重な体験を通して得られた教訓を胸にこれからの生活も頑張っていきます。本当に今までありがとうございました。



S・T (統計B)

TA／SAをやってみようと思ったきっかけ

ゼミの先生からの紹介、人前で話す経験をしたかったから

TA／SAに関連する活動で印象に残っている出来事

もう一人の方が急用で休み、ワンオペで授業をしたこと

TA／SAを経験して変化したこと、成長できたこと

人前で喋れるようになったこと、後輩と喋る機会が増えたこと、生活リズムの改善

TA／SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

なるようになるので、ぜひ一回チャレンジしてみてください。

担当教員やTA／SA仲間へのメッセージ

1年間ありがとうございました。楽しい時間を過ごすことができました。

A・Y (統計B)

TA/SAをやってみようと思ったきっかけ

元々統計学が大の苦手でしたが、魅力に気づき苦手を克服するどころか面白さにハマってしまいました。その魅力を多くの生徒に伝えることで統計学を敬遠する生徒が減ればと思い、SAをやってみようと思いました。

TA/SAに関連する活動で印象に残っている出来事

質問に来た生徒が分かりやすい説明だと言ってくれたこと

TA/SAを経験して変化したこと、成長できたこと

自分が今までインプットしてきた専門的な知識をアウトプットする能力がついたと思います。

経験から生まれる考え方、例えば自分の持つビジネス論や価値観などは、日常生活で話すことが多く言語化しアウトプットすることは比較的容易です。また、それらは極めて主観的なものであるため、それをアウトプットすることに責任を負う必要がそれほどありません。

しかし専門的な知識、特に統計学などのようにそれ自体が客観性の高いものは、日常生活で話すことは少なく言語化する機会があまりありませんので、アウトプットすることは難しいと思います。そして客観性の高さをゆえに、誤った理解をしていたり伝え方を誤ってしまった場合、聴者に誤解をさせてしまいますので、発言に大きな責任が伴います。

このようなアウトプットすることが二重の意味で難しいものを、アウトプットする経験をコアセッションでは積み重ねていただきました。専門的かつ抽象的なものをいかに分かりやすく言語化するか、聴者に誤解なく伝えるにはどのような表現が適切か、試行錯誤する中で、そういったものをアウトプットする能力が身についたと実感しています。

TA/SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

「勉強を教える」というのは家庭教師や塾講師のアルバイトでも経験できますが、「学問の面白さを伝える」のは大学でしかできない経験だと僕は思います。家庭教師や塾講師は対象が小・中学生や高校生であり、「成績を上げる」ことや「受験に合格する」ことが目的なので、効率よく点を取ることを念頭に置いた指導になります。

一方で大学の「学問」は「勉強」とは異なり、「知の探求」であるために効率よく点を取るのではなく、自分の知識・理解を深めることに目的があります。目的が大きく異なるために、指導するスタンスも大きく異なります。真の意味で「学問」を彼らに接する。それこそがTA/SAでしか積めない経験です。

ここでしか積めない経験、ここでしか見えない景色があります。ぜひ勇気を出して一歩前に踏み出してみてください。

担当教員やTA/SA仲間へのメッセージ

お疲れ様でした！得田先生・SAの皆さんとコアセッションの運営ができ、とても楽しかったです。ありがとうございました。

先生からのメッセージ

田島先生

本当に優秀でSAばかりでしたので、講義中にトラブルもなく無事終わることができました。また、個性的な皆様でもありましたので、支援室での会話も興味深いものでした。半年間、もしくは1年間ありがとうございました。

得田先生

3名の献身的なセッション運営に頭が下がる思いでした。皆ベテランの域に達し、安心して任せることができました。

Yさん：セッションの打ち合わせというより、雑談（きれいな奥さんの）が多かったような気がします。末永くお幸せに。

Sさん：高い統計スキルを有する氏ですが、忘年会では別のスキルを垣間見ることができました。お酒はほどほどに。

Tさん：キャラの濃い上記二人を、うまくまとめてくれました。優れた調整能力をさらに磨いてください。懸賞論文受賞コングラ。